

下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。
（記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。）

1. 下地の確認・清掃

- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。
- 砂、塵埃などを除去してください。

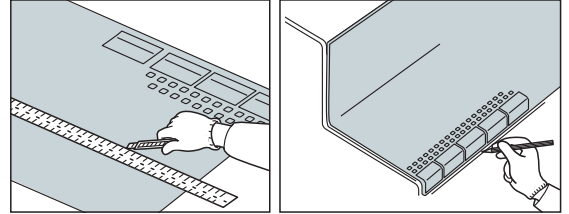
2. 裁断とけがき

- まず、最下段の階段蹴込み面の中・高さを測定し、タキステップを裁断して、蹴込み部分用シートとして使用してください。（残った材料は、最上段の踊り場で使用します。）

- スケール・直定規で階段の中寸法を測定し、タキシール#600仕上げ代として排水溝側は5mm以上、壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。

※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

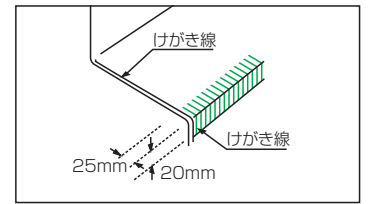
- 仕上げ寸法に裁断後、タキステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆等で仕上げ線をけがいてください。



3. 下地用プライマー液（タキボンド#625）の塗布

※平鋼板製階段に施工する場合は、プライマー タキボンド#625（別売）を購入してください。
（タキボンド#650と平鋼板下地とを接着させるため）

- 図のように下地斜線部にタキボンド#625をハケで均一に塗布して20～30分間乾燥させます。タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。

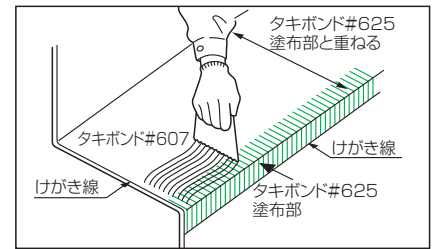


4. 接着剤（タキボンド#607）の塗布

- 図のように床用接着剤（タキボンド#607）をタキボンド#625塗布部と重なるようにクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを20～30分程度取ってください。

- オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、タキステップが手前に押し出されたり、階段入り隅部に浮きが生じたりします。

- 張り付けは、最下段から順に上段へ向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業が最下段にいるようにしてください。



5. 両面テープの剥離紙の剥がし

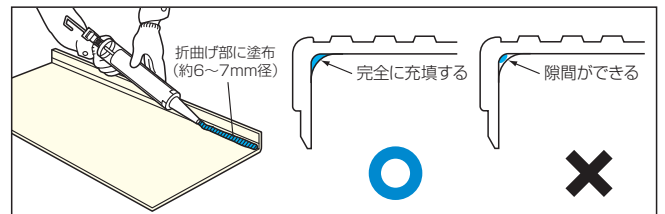
- タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

6. 段鼻充填用接着剤（タキボンド#650）の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部（段鼻部裏面）にタキボンド#650を、コーキングガンで約6～7mm径の太さで均一に塗布してください。

- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、**段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。**

- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、**別売品を追加購入してください。**



7. タキステップの張り付け

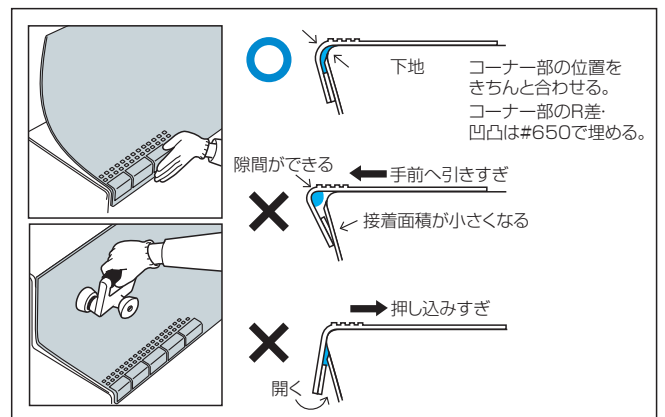
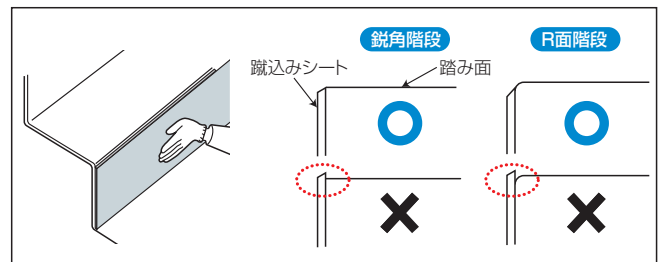
- まず、最下段の蹴込み面に、あらかじめ裁断しておいたシートを張り付け、圧着を行います。その際、蹴込み上端部からシートがはみ出さないように注意してください。

- 次に、タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部（段鼻部）にあてがい、下地とタキステップ折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。**その際、段鼻部が折り曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように注意して張り付けてください。**

- 蹴込み面の張り込みは、コーナーローラーなどで軽く折りぐせをつけ、**ガストーチで加熱して納めてください。**

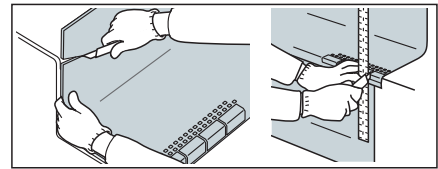
- 蹴込み面の張り込み時に、タキステップ裏面をカッターナイフ等で薄く切る方法は、**タキステップの破損の原因となりますので行わないでください。**

- 張り付け圧着が完了した後、階段上端部からはみ出たシートを裁断してください。階段上端部からシートがはみ出ると、次のタキステップ段鼻部の納まりが悪くなりますので注意してください。



●踊り場部分のタキステップは、最下段の蹴込み用シートとして裁断した残りを使用して張り付けてください。その際、タキステップのエンボス(凹凸柄)部分とフラット部分の境界で裁断し、廊下踊り場用シートと張り継いでください。

●蹴込み面端部と段鼻部端部にズレが生じた場合は、直定規で直線に仕上げてください。

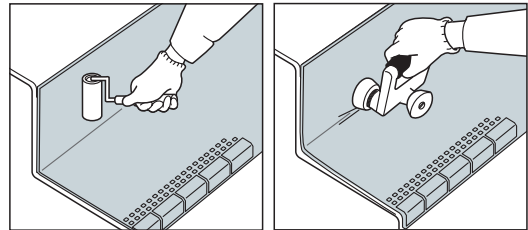


8. 圧着

●階段入り隅部はコーナーローラーで、それ以外の全面はハンドローラーで十分に圧着してください。

●タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)

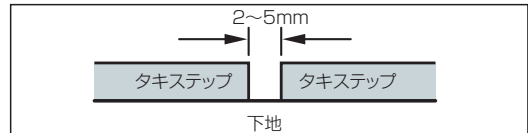
●階段入り隅部圧着の際には、シートに傷を付けないように注意してください。



9. 継目処理

●タキステップ同士の継目は、エンボスの谷間で2~5mm程度の隙間を空け、マスキングテープ養生後、タキシール#600(別売)にて処理を行ってください。

※タキシール#600が硬化するまで、最低2~3日養生してください。
養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。



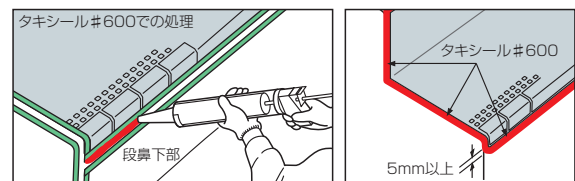
10. 端部処理

●タキステップの全周にマスキングテープ養生し、タキシール#600の中が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで端部処理を行ってください。

●マスキングテープは仕上げ後直ちに取り除いてください。

※端部処理は、前垂れの浮きや段鼻の破損を抑制する効果がありますので、必ず実施してください。

※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面にかからないように、隙間を空けて、踏み面部で処理してください。



11. 養生

●タキステップ施工・清掃後、タキボンド#650・タキシール#600が硬化するまでは歩行をできるだけ控えてください。

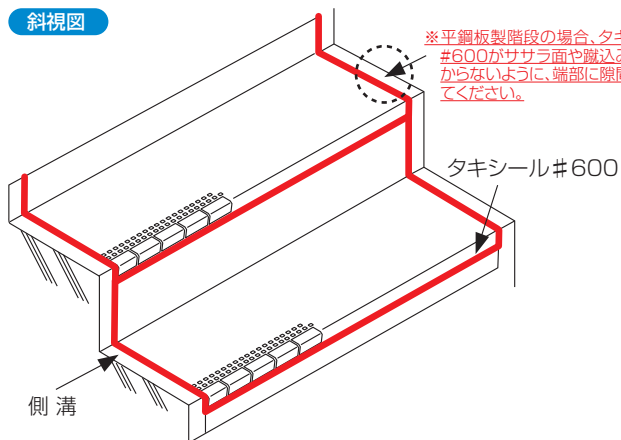
特に段鼻部はタキボンド#650が流動したまま硬化しますと、亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。



- 平鋼板下地につきましては、十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 踏み面、蹴込み一体型のため、下地の状態によってはタキステップが下地に納まりにくい場合があります。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
- 廊下・踊り場用シートと溶接処理する場合は、段差が出来ないように仕上げてください。
- 前垂れ部のタキシール巾が5mm未満または5mm以上でも適正量打設できないと、前垂れ部の強度が不足し浮きが発生する恐れがありますので注意してください。
- 端部処理は全周行うことを標準工法としております。
- タキボンド#625は前垂れテープ下にも使用いただけます。
- モルタル充填型鉄骨階段、踊り場には、通気緩衝工法で施工してください。通気緩衝工法には専用副資材(ベンチレイシート)が必要となります。詳しくは営業担当者までお問い合わせください。

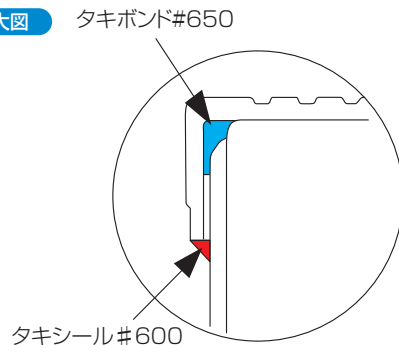
標準納まり図

斜視図



※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

拡大図



施工副資材 標準使用量一覧表

	タキボンド#607	タキボンド#625	タキボンド#650 (付属品)	タキシール#600
900タイプ	97段/18kg	96段/400g	9.7段/本	10.0段/本
1200タイプ	73段/18kg	72段/400g	7.3段/本	9.0段/本

●タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には別売品を追加購入してください。